

11月15日(月)～16日(火)にかけて、1年生理数科を対象に、サイエンスツアーを実施しました。最先端科学の現状を理解し、科学に対する研究意欲を高めることを目的に、石川県水産総合センター、金沢大学能登海洋水産センター、星の観察館「満天星」、のとじま水族館での研修を行いました。残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、石川県内で1泊2日の研修となりましたが、普段、学校では学ぶことのできない事柄について、研究者の方からお話を聞くことで多くの知識を得ることができました。

1日目



2日目



☆生徒の感想☆

- サイエンスツアーを通して、能登の海でもかなり大きな研究がされているということがわかりました。海の環境に地球温暖化が大きな影響を与えていると分かり、自分達に何かできることはないかと考えるきっかけとなりました。
- 石川県水産総合センターでは、事前学習時に疑問があったイカの小型化について原因を詳しく知ることができたので講義がとても印象に残っています。金沢大学能登海洋水産センターでは実際に実験を行うことができとても良い経験になりました。
- サイエンスツアーで「育てる」漁業、「守る」漁業の大切さについて学んだ。
- 満天星では、星が死んだ時どうなるかや、太陽系の仕組みについて理解できた。
- サイエンスツアーで勉強になったことは、地球の環境と魚には深い関りがあることです。一つの物事を他の関連しそうな物事とつなげて考えることは大切だと思いました。
- プラネタリウムでは、宇宙の広大さに感動し、縮小サイズの模型でイメージがしやすかった。
- 普段は入れない施設で詳しく知ることができない研究内容について知ることができてとても楽しかった。特に、金沢大学能登海洋水産センターで聞いた、魚類の受精の話で、卵門の種類や仕組みがとても面白いと感じた。